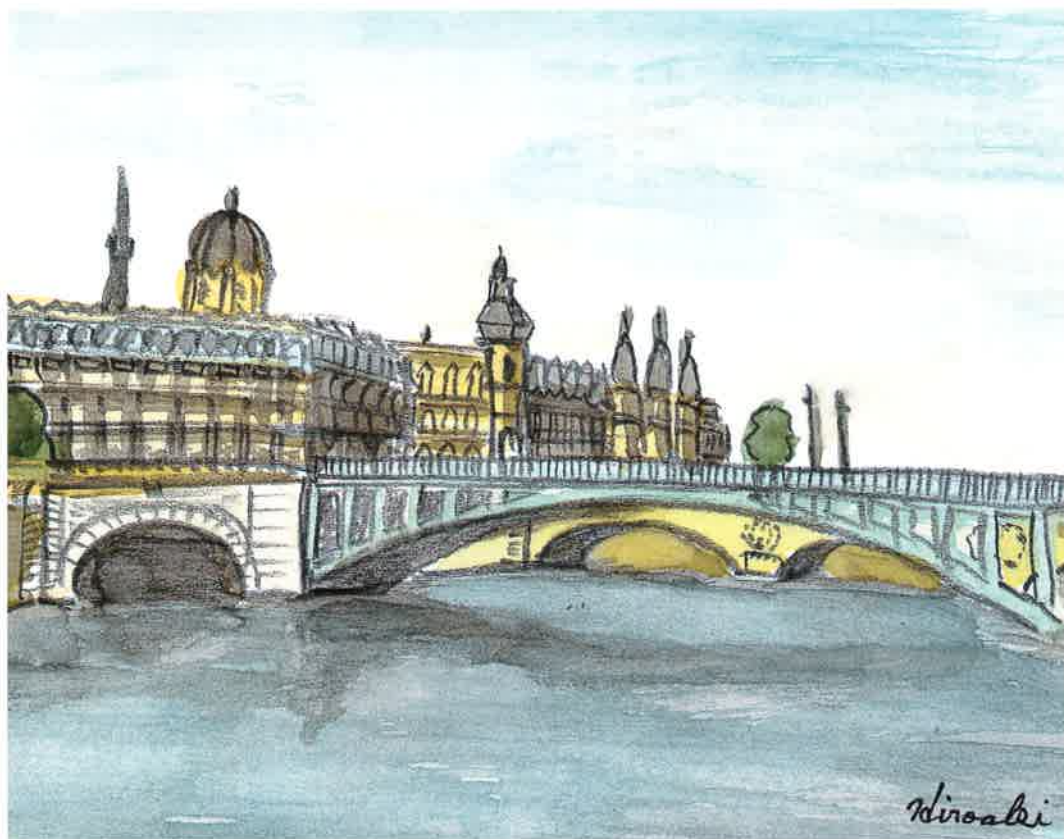


高知日仏協会 会報



#18 2024

SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE KOCHI

MA VIE EN FRANCE

大谷 衣乃

「何故フランスか」と聞かれると自分でも分からないのだが、二十一歳の時初めてフランスを訪れてからずっとここで暮らしてみよう、と思っていた。といっても四年も暮らすことになるとは思ってはいなかったが、

大学を卒業し、諸々の手続きを済ませ一九九五年九月二十六日、フランスでの生活がスタートした。「パリから遠くなく、方言がなく、学費が安い」で選んだ街はポワチエ。小さな小さな素敵な街だ。まずは家探しから、といっても不動産広告が読めない。辞書で解読する。そして大家さんに電話、でも何と言えはいいのか、それ以前に言っていることが分からない。今になれば、一体どうやって切り抜けたのかと不思議に思うが、こんな状態から始まり、それでも大学の手続き、滞在許可証の申請とこなし、生活が始まる。

十五世紀に建てられた石造りの一軒家に一年住んだ。ワインとチーズで飲み明かす日々。有り金もつきる頃、二年目に入り仕事を求めてパリへと上る。学校、仕事、旅行で三年が過ぎた。結局、正規の労働許可証はフランス人と結婚しない限り不可能という現実の前に九九年に帰国したが、免税店、レストラン、買い付け、カラオケ、ガイド、通訳、自動車リース、ワールドカップと、かなりバラエティーに富んだバ

クロワッサンにリッチな気分



イト経験をした。

いろんな人がいる。かなり面白い。人と違ってなんぼ、この国。やってみたいと思ったことが何でもできた。生活は旅行のために切り詰めた質素倅約第一。日本より遙かに寒いパリで暖

房費節約のため寒い日は公共施設に出かけて暖をとる。暑い日もしかり。クロワッサンを食べる日はちよっとリッチな気分。楽しい貧乏生活。あの時の一フランは私にとって二倍以上の価値を持つような感じだった。何より日本と全く違う文化のなかで暮らすことが、どれだけ大きく私の価値観に影響したか自分でも分からない。影響どころか控え目に言っても人生四割くらい違うものになったと言う方が的確だ。世界中から人と物が集まり、文化的に大きく開け、豊かで、町中が芸術品のように美しい。おまけに食いしん坊の私にとってワインも食べ物も安く美味しいといえれば言うことはない。

先日、二年ぶりにフランスに行った。零歳の息子も連れて。美しい街に涙が出た。彼の記憶の意識されないほんの片隅にでも、この美しさが映ったことを願った。初めてフランスを旅してから八年。以来、三十か国あまりを訪れる機会に恵まれたが、私にとって今でも、そう、きっとこれからもフランスほど愛すべき国はない。

おおたに・その土佐女子高1獨協大フランス語科卒業後、九五年渡仏。ポワチエ大FLE入学を経て、ソルボンヌヌーベル大に入り言語学専攻、九九年同大卒業、同年秋帰国。

楽しかった留学生活

RYOMA GAKUEN DESIGN

カラーコーディネーター2級《文部科学省認定ファッションコーディネーター色彩能力検定》

期 間：4/23～ 5/30 会 場：国際デザインカレッジ
 9/24～10/31 教材費：
 曜 日：火・木 AFT対策テキスト(予価) ¥2,500
 回 数：全12回 過去問題集(予価) ¥2,800
 時 間：18：30～20：30 カラーチップ(予価) ¥700
 受講料：¥42,000

色彩検定は、従来感性の部分と見られがちであった色に関する知識や技能を理論的、具体的に説得力のひとつとして活かしていける様という願いのもとに実施されています。「趣味として楽しく学びたい」方から「仕事して本格的に取り組みたい」方まで、その活用範囲は様々です。

※この他にも簿記・パソコン・ヘルパーなどの講座を開講しています。無料でパンフレットをお送りしますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

◆企業研修・出張講習も行っています。パソコン研修・簿記研修などビジネス分野の幅広い研修をご用意しております。

- 当校をご利用になるのが初めての方は入学金5,000円が必要です。
- 記載されている金額は全て税別です。別途消費税を申し受けます。
- 受講料に検定料は含まれていません。
- 一旦受理した入学金、受講料は返却できませんので受講時期、コース変更にてご了承下さい。

お問い合わせ時間 平日AM9:00～PM6:00 P 無料駐車場完備
 URL <http://www.ryoma.ac.jp/open/>



学校法人龍馬学園

オープンカレッジ

〒780-0056 高知市北本町1-12-6

TEL. 088 871-0066



▲アングレーム市幹部と会談する松尾市長(中央)

【お知らせ】 横山隆一記念まんが館の開館に合わせてアングレーム市からフィリップ・モテ市長夫妻ら一行6人が来訪され、高知日仏協会では4月7日午後6時30分から高知新飯倉ホテルで「交流の夕べ」を開くことになりました。

KOCHI ANGOULEME 提携本格化へ

横山隆一記念まんが館館長 佐竹 茂市

1月末、松尾徹人高知市長、小崎千鶴子高知市議会議長らとアングレーム市を訪問し、「世界まんがフェスティバル」も見学した。この催しは毎年1月に開かれている。来年は30周年を迎えるというから、おそらくまんがによる町おこし事業の世界的パイオニアだと思われる。

ア市は、パリから南西へ400キロ、TGVで約2時間半、人口4万6千人の地方都市である。中世以来、シャラント川べりの丘陵の上に発達した城郭都市だ。かつては川の水を利用した製紙業やビール製造が盛んであったが現在は、コニャックなどブランディが名産として知られている。

フェスティバルの起源は、高知県のように数多くの漫画家を輩出したというような人縁・地縁は全くなく、まんが愛好家数人により「まんがを使って何とか市のPRと人集めが出来ないものか」という発想から始まったという。その後、市をあげての催しに発展し、その実績から91年にフランス唯一の「国立まんが映像博物館」の誘致に成功した。

開館以来の業績は、フェスタを除き毎年6～7万人の入場者があり順調に推移、来年は館の拡張計画も予定しているという。今年の4日間のフェスタ期間中、同市への観光客は市人口の4倍強の約20万人を記録。高知でいえば「アンパンマン・ミュージアム」や「モネの庭」の1年間の入場者に匹敵する入りになっている。

私たちの今回訪問の目的は、先進成功都市の事例を学ぶと同時に、できれば、まんが館同士が業務提携を行い、情報の交換、資料の貸借、さらには市レベルを含めた幅広い人的交流を行うことによって、相互の文化的、経済的発展を目指すというものである。

わが国のまんがは、その内容、数量ともに世界に冠たる地位を占め「MANGA」は世界共通語にもなっている。にもかかわらず、海外への輸出や交流はまだ夜明け前の状態である。その意味で、わがまんが館が、まんがによる国際交流の先鞭をつけ、まんが文化の発展に貢献できれば、これに過ぎる喜びはない。

(さたけ・もいち=高知日仏協会会長)



高知日仏協会
主催事業

ムッシュ・ビゴの パンづくり教室

..... 5月26日(日).....
pm1:00~5:00 中央公民館10階調理室

材料費...会員2000円 一般2500円
定員...30人(先着順)
申し込み締め切り...4月30日

※但し、定員になり次第締め切らせていただきます。
※材料費を持参のうえ直接事務局までお申し込み下さい。
当日持参するものはエプロン、手拭きタオル、筆記用具。

高知日仏協会では、5月26日、高知市文化プラザ「かるぼーと」(同市九反田)内の中央公民館に、フィリップ・ビゴ(Philippe Bigot)さんを招いてパンづくり講習会を開く。

ビゴさんは、フランスの「食文化大使」として日本各地で講習会を開く一方、テレビ・ラジオでも活躍中で、今回会員からの要望もあり、交渉の結果快諾を得た。

ビゴさんは、ノルマンデーのパン屋さんに生まれ、59年に製パン、製菓

の職業適性証(CAP=certificat d'aptitude professionnelle)を取得。国立製粉学校の製パン科を経て、23歳で国際見本市(東京・晴海)のため来日。ドンクに招聘され、日本に本物のフランスパンを紹介。72年、兵庫県芦屋市に「ビゴの店」を開店、ひげのビゴさんとして親しまれ、仏政府からフランス食文化の普及に貢献した功績で、国家功労賞シュヴァリエ章(82年)オフィシエ章(98年)を贈られている。

日仏交流の発展を

大阪・神戸フランス領事館
シャティニユ総領事着任



総領事(左)と語る佐竹会長

アラン・ナウム大阪・神戸フランス総領事の転任に伴い昨年9月、後任にフィリップ・シャティニユ(Philippe Chatignoux)在マイアミ総領事=写真=が着任した。



シャティニユ新総領事はパリ出身で47歳。パリ政治学院に学び、国立行政学院を卒業後、経済・財政・産業省入り。駐オーストラリア大使館、駐ベトナム大使館経済商務参事官、本省国際経済局長室長を歴任。94年から3年間、駐日大使館経済商務参事官を務めている。

在大阪・神戸フランス総領事館主催の新春レセプションが1月23日、大阪市北区中之島のリーガロイヤルホテルで開かれ、佐竹茂市市長、由己子夫人、上田静雄事務局局長が出席、在阪仏人、各地の日仏協会関係者らとの交流を深めた。

この中で、フィリップ・シャティニユ総領事は、素晴らしい21世紀の幕開けとはならなかったが、ユーロが世界の第2の通貨になった、と前置きしたあと「フランスは米に次いで日本に投資している。今後はフランスの企業に西日本に目を向けるよう呼びかけ、西日本への投資も支援したい。また、日仏文化交流の発展に努めたい」と話した。

フランス「モネの庭」研修報告 (2001 10.16~12.2)

パリ市内から北西約80キロのジヴェルニー村にある「モネの庭」は、閉園期が間近だということにチェリーセージ、インパチェンス、宿根アスターなどが咲き乱れていました。

今回の研修は、水の庭、花の庭、ハウスの3部門で、気候、造形、組織が大きく違う北川村「モネの庭」マルモッタンで実際どのように生かせるかがテーマでした。

まず花の庭に入ると、花の多さや大きさの違いからくるボリュームの差と、水の庭も含めてあらゆる所を利用して鮮やかで、優しい色合いの花が沢山植えられているのが驚きでした。北川村でも、ジヴェルニーとは規模、造形に違いはあってもモネのパレットの絵の具がこぼれたような風景を目指したいと思いました。

研修で一番楽しみにしていたのが、閉園期の作業。ボリュームのある花を作る基礎の部分で

北川村では冬の剪定を1月中旬ごろから2月にかけてしますが、ここでは10月下旬にはもう始まっていて土壌改良と平行して行われます。

水の庭についてモネは、水はいつも澄むようにと言っています。ジヴェルニーの水の庭はボートに乗って柴すくいをするので水面が濁ることがありません。

水の庭に関しては人の手を加えすぎた日本庭園ではなく、ゆったりとした空間に、水と花と樹木が自然な空間を造り上げていました。

ハウスでは、幾種類もの植物の挿目をしました。用具は手術用のメスです。切れ味はもちろん抜群で、切り口や全体の仕上がりもきれいです。手に入れば取り入れたい用具の一つです。作業姿勢は作業台があるので座っての作業がなく楽です。小型の用具は棚に整理され、その他のものや清掃道具は壁に掛け、見た目も良く工夫されていました。

勤務時間は午前8時から午後5時30分。朝のミーティングでは、必ず握手で挨拶を交わします。休憩時間は、日本のように座ってお茶やコーヒーをのむ習慣はなく、作業しているその場で立ち話したり、庭で収穫したリンゴを食べます。私も

毎日リンゴ1個を食べるのが習慣になっていました。お国柄か庭師たちは陽気な人が多く、ふざけ合ったり歌を歌い楽しんでいます。

今回の研修に参加でき、やはり一番うれしかったのは、庭の作業を通じ庭師たちとの交流を深めたことです。言葉の通じない状態でも自然に受け入れてくれ、私もすぐに生活に慣れ、自然体で過ごすことができました。

1カ月半の研修期間で肌で感じた「モネの庭」を目指し、見た目ばかりでなく同じ体感を持つ庭造りを目標にしたいと思います。(ひらおか・さちこ=北川村「モネの庭」マルモッタン・フラワーリーダー)

北川村 平岡 幸子



▶ 仏人庭師と土づくりに励む筆者(左)

ですが、閉園期に入ると翌年に持ち越すダリアの球根を全花壇から掘り起こし、モネの家の地下室に保存しています。

その他、挿目で増やす植物やポット保存の植物はハウスに持ち込まれ、スムーズな連携プレーで処理されます。花壇に残す宿根草以外の植物の撤去が終わると、全花壇の土壌改良が急ピッチで進みます。

土壌改良には適度の栄養分を含み、土の改良にも良い1年以上経った糞入りの牛糞をすき込み交ぜずに土を被せます。二人でペアを組み(広い花壇では3人の場合も) ペースを合わせて、仕上りを均一にします。この方法は花壇の仕上がりにばらつきがありません。バラの剪定は、



来年5月、佐川町が企画

パリの空に鯉のぼり

パリの空に鯉のぼりを——高岡郡佐川町が来年5月の日仏文化交流のイベントに参加を計画し「パリの空に泳ぐ!鯉のぼり夢フェスティバル実行委員会」(会長、竹村維早夫・司牡丹酒造会長)を結成。ユネスコ(国連教育科学文化機関、本部パリ)も後援する一大イベントで、高知で500匹を集める目標を設定、活動を展開している。

パリ在住で江戸時代に佐川を治めた山内家老深尾家の縁者が、日仏文化センターを主宰する服部祐子さんを紹介。服部さんは四十川の鯉のぼりの川渡しに注目し、昨年2月に来高。服部さんは同町の人々と触れ合いの中で、フランスにない「こどもの日」「鯉の

ぼり」など日本独特の文化に興味を示し、世界中の人々と文化が集積するパリから平和へのメッセージを世界へ発信しよう、とさまざまなイベントを企画した。

この計画にはユネスコ本部、駐仏日本大使館、仏政府観光局などが協力。来年5月中旬エッフェル塔に近いシャンドマルス公園をメイン会場に「夢と平和の架け橋」「チャリティコンサート」「端午の節句」展などを開き、鯉のぼりを掲げることにしている。

実行委員会では広く活動への協力を呼びかけている。問い合わせは佐川町役場企画調整課内事務局(☎0889-22-7703)

フランスファン必見

高知県立文学館

パリ憧憬展



藤村、荷風、鉄幹—幕末以降、昭和初期にかけてパリに留学した日本文学者の遺作などを一堂にした特別展「パリ憧憬～日本文学者の〈フランス〉体験」=写真=が高知県立文学館で開かれている。

徳川使節団が初めてパリの地を踏んで以来140年、パリは文学、美術、ファッション、料理など幅広い分野で近代以降の日本人たちを魅了してきたが、今展では「文学者にとって異文化体験とはなにか」を豊富な資料をもとに検証している。

「先進文明の衝撃と同時代東京」「憧憬と葛藤」「近代詩歌の息吹」「土佐人のパリ」など8部構成で、それぞれに生原稿や絵画、写

真、書簡、絵はがきなど約250点が展示されており、高村光太郎のブロンズ「大倉喜八郎の首」浅井忠の水彩画「パリ公園」黒田清輝の油彩「裸体・女」金子光晴が帰国旅費工面のために描いた瑞々しい水彩画コレクション(複製)などが注目を集めている。

また、明治から大正にかけて日本の美術界をリードした高知県ゆかりの美術評論家・岩村透(1870-1917=土佐藩士・岩村高俊の長男)を紹介した「西洋美術の仕掛け人—岩村透」の資料の数々は、日本の美術史を知るうえで必見のコーナーとなっている。3月31日まで。

La splendeur de Paris
et ses artistes



華やぐパリの芸術家たち展

～印象派、エコール・ド・パリから現代までの足跡をたどる～

高知市文化プラザ「かるぼーと」は、開館記念事業として5月3日から同館7階市民ギャラリー第1、第2展示室で「華やぐパリの芸術家たち展～印象派、エコール・ド・パリから現代までの足跡をたどる」を開く。

19世紀から20世紀にかけてフランスでは、さまざまな芸術運動が興り数多くの優れた画家を輩出。印象派、立体派、野獣派そしてモジリアニ（イタリア）シャガール（ロシア）キスリング（ポーランド）藤田嗣治ら外国出身の作家が大きな役割を果たしたエコール・ド・パリの画家たち、さらに第2次世界

大戦の前衛美術運動と常に時代をリードしてきたが、今回の展覧会はこれらアーティストたちの個性と創作に視点を置いており、高知に初めて本格的なパリのエスプリを運ぶことになった。

展示作品は80数点で、モジリアニが「黒い服の女」＝写真、「褐色の髪の子」「女の肖像」など10点余、モネの「セーヌ川・ポートヴィエの風景」など数点のほか、ローランサン、ユトリロ、ルオー、ルノワール、ココー、藤田など美術ファンには馴染みの顔ぶれの作品が並ぶ。5月26日まで。

ユーロ記号

ヨーロッパ委員会がギリシャ文字のエプシロン（ε）を基にデザインしたもの。「Europe（ヨーロッパ）」の頭文字にも関連づけられている。2本の平行線は、ユーロ圏の安定を表している。

順調に滑り出したユーロの流通

2002年1月1日、ユーロが人口3億人を超えるユーロ圏の正式な通貨になった。今ではユーロは、小切手やクレジットカードのほか、現金でも使用できる。フランスでは昨年12月14日にユーロの「スターターキット」が予定を一日繰り上げて販売されて、一般市民の間で大きな反響を呼んだ。そしてユーロ貨幣の流通初日から国民のユーロに対する高い関心が改めて示された。実際、銀行カード・グループによると、「カードによるユーロ現金の引き出しは、1月1日だけで218万8,260件に上り、引き出し額は合計で1億7,960万ユーロに達した」のである。一回の引き出し額は平均で82ユーロ。引き出し件数は、「平年の1月1日の三倍、ほぼ通常の平日並み」だった。

1月3日には今年初めての閣議が開かれ、ユーロ流通後の単一通貨への移行状況に関して、ローラン・ファビウス経済・財政・産業大臣から最初の報告がなされた。同大臣は、「大方の見方として、ユーロへの移行は順調な滑り出しをみせた」と述べた上で、特に「移行はよいムードの中で推移し、すでに成功を収めている」と強調した。

実際、世論調査機関ソフレスが1月2日から5日にかけて、全国の18歳以上の男女800人を対象に行ったアンケート調査によると、10人中9人が新通貨はスムーズに、また非常にスムーズに導入されたと感じている。また5日の時点で、95%の人がユーロの紙幣と硬貨を手にしたほか（2日より13ポイント増）、同じ日にユーロで買い物をした人は67%に達した。ユーロで支払いをした人のうち、51%は新しい紙幣や硬貨

を見分けるのに、「多少手間どった程度」で済んだほか、54%が釣り銭の確認を問題なくできた。また、ユーロで支払いをした人は、2日には37%にすぎなかったが、5日までに74%と倍増した。

一方、近所の商店において、レジに並ぶ列が以前よりも長く感じると答えた人は、2日の31%から5日には54%に増えた。大型スーパーでは、同じ印象をもつ人の割合は、11%から25%へと推移した。反対に、列の長さは普段と変わらない、あるいは普段ほどではないと答えた人の割合は、近所の商店では23%（2日）から31%（5日）に増えたほか、大型スーパーでは26%から46%へと半数近くに上昇した。レジ係のユーロの扱いに関しては、ある程度よいと感じた人の割合は、商店・大型スーパーともに調査期間中に倍増した一方、釣り銭間違いを指摘した人は12%にとどまった。

なお、新通貨の流通とともに、切手もユーロに切り替わった。ただし、ユーロ紙幣・硬貨のように、ユーロ圏内どこでも使えるわけではない。フランス発行のユーロ切手は、国内から発送する郵便物に使用が限られる。また、フラン表示の切手およびフランとユーロの二重表示の切手は、これまで通り無期限で使用できる。

最後に、フランスでは100分の1ユーロにあたるセント（cent）が、フランス語の「100（cent）」と混同されるおそれがあることから、これまで通りサンチーム（centime）の呼称が使われている。

TROIS COULEURS（トロワ・クルール＝在日フランス大使館）より

白身魚のエスカベッシュ、春仕立て

日本で言う南蛮漬けのようなものです。

白ワインとワインヴィネガールの酸味と野菜の甘みのバランスが決めてです。

今回は菜の花を添えて春仕立てにしました。

高知バレスホテル 田中シェフの



〈作り方〉

- ①白身魚は1人前100gに切り、あらかじめ塩、胡椒しておきます。
- ②玉葱はスライス、人参・セロリ・赤ピーマンは5cm位のせん切り、にんにくはみじん切りにします。
- ③②の野菜をバターでしんなりさせ甘みが出るまで炒めます。(焼き色は付けません)
- ④③の野菜に白ワインと白ワインヴィネガーを加えて弱火でじっくりと煮ていきます。
- ⑤菜の花は塩茹でし、氷水に浸します。後は水気を良く切っておきます。
- ⑥④の煮汁が煮詰まってきたらオリーブオイルと砂糖少量を加え、塩、胡椒をして冷ましておきます。
- ⑦白身魚に小麦粉をまぶし表面がカリッとなるまで油で揚げます。
- ⑧揚げたての白身魚に、冷ましておいた野菜を煮汁ごとかけます。そのまま常温でさましてさらに良く味がなじむように時間をかけます。(2~3時間)

〈材料〉4人前

白身魚(真鯛、すずきなど).....400g	砂糖.....少量
玉葱.....半分	菜の花.....8本
人参.....80g	白ワイン.....100cc
セロリ.....30g	白ワインヴィネガー.....50cc
赤ピーマン.....2個	バター.....20g
にんにく.....0.5片	オリーブオイル.....50cc
コーンスターチ.....適量	小麦粉.....適量
	塩、胡椒.....適宜

- ⑨下茹でしておいた菜の花にコーンスターチをまぶし、低温(150℃)の油で揚げ、塩を振ります。
- ⑩⑧を皿に盛り付け、菜の花を添えて仕上がりです。

〈ポイント〉

- 冷ます時は常温です。冷蔵庫は避けてください。魚が硬くなり食感が悪くなります。
- 出来れば揚げたての魚に完全に冷めた野菜をかけます。温度差により味がなじみやすくなります。

—オゼンヌ高から便り—

昨年2月、日仏高校生交流事業で高知南高校を訪れたトゥールーズ・オゼンヌ高校の生徒たちが年末から新年にかけて高知日仏協会に可愛いXマスカードや“年賀状”を送ってきた。

バカロレアを経て、ほとんどが大学生になっており「エンジニアを目指しています」や「大学では日本語と英語を専攻、また高知へ行きたいです」など日本語で綴った生徒もいて、それぞれに協会に対し高知滞在中の感謝の意を伝えている。



事務局近着資料

「ラベル・フランス」45号(フランス外務省)	「広島日仏協会報」No.154~155	「TROIS COULEURS」(在日フランス大使館広報部)
「MONNARA」No.150~152	「香川日仏協会報」No.59	「フランス・ルネサンス舞踊紀行」(原田宿命著・未来社刊)
「OVNIオープン」No.488~494	「フランスの概況2002」(在日フランス大使館広報部)	

Petite note



大谷さんの巻頭エッセイに、自分の学生時代が妙にオーバーラップした。クロワッサンにワインなんて洒落たもんじゃなかったが、コッペパンにピーナツバターを塗って豊かな気分になり、新宿西口の安酒でおだをあげた頃を懐かしんだ。もとより遠い異国での体験とは比較にもならず、時の流れを感じざるを得ないが、若さとそんな勇気がいまさらながら羨ましい。外から“にっぽん”を見る世代が増えることに期待を寄せたい(U)
表紙絵:「パリ点描」高知県・高知港事務所、井上浩明さん

高知日仏協会会報 第18号

平成14年4月1日 発行

発行者 〒780-0935 高知市旭町2-22 国際デザインカレッジ内
高知日仏協会 会長 佐竹 茂市
TEL.088-875-0099 FAX.088-875-3299
印刷所 高知市葛島1丁目10-70 高知印刷株式会社

あなたの あったかな心を いつまでも 大切にしたい。



こうぎんは、皆様の地域文化
活動を応援しています。



— 暮らしいきいきビッドバンク —

高知銀行

本店/高知市堺町2番24号・電話(088)922-9311



Chez-Moi Wedding



シェモア・ウエディング・・・
まるで自分の家にお客様を
お招きしたような暖かなおもてなし。

